

発行所
氷川神社社務所

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

<https://koenji-hikawa.com/>

発行責任者
松井 美加子



高円寺氷川神社氏子青年会新年会を終えて

氏子青年会新年会を終えて(氷川神社大広間にて)

1月27日(日)に高円寺氷川神社氏子青年会の新年会が開催されました。(於氷川神社大広間)
氏子青年会には日頃から神社行事においてご奉仕を戴いており、大変お世話になっております。また氏子青年会独自の行事も年間通じて行われており活発に活動されております。

氏子青年会は昭和43年に結成され(結成のいわれは4ページ下部ご参照)氏子地域の青年同士の交流活発のきっかけとなってきました。一昨年には、結成50周年式典を開催しました。(於平安祭典)まさに氷川神社の歴史と共に歩まれてきました。

そんな伝統ある氏子青年会ですが、近年は会員の年齢構成の高齢化が徐々に進んできております。そこで昨年会長に就任された由井宮太郎さん(平成4年〜9年に続き2回目の会長職)が「世代交代」という大きな方針を定められ、行動を起こされました。その結果、会員皆様の御尽力もあり、今般、新入会員が16名加わることになりました。新年会では、新入会員が紹介されました。皆様働き盛りの若い世代で、これから氏子青年会の活動が益々活発化していくことが期待されます。

また今般、氏子青年会の会歌(作詞:由井宮太郎さん)が作られて、皆で唱和しました。この会歌により氏子青年会の一体感がさらに醸成されていくと思えます。

新年会の前には氏子青年会の新年清祓の神事を執り行い、皆で安寧と弥栄を祈念しました。その後の新年会では、多くの御来賓の方々に御来臨戴き、清興も盛り込み、そして新入会員紹介、会歌唱和と盛りだくさんの内容となり、例年にも増して盛り上がりました。

今年には神社の通常行事に加え、新しい行事の組成にも力を入れていきますが、氏子青年会の協力が必要となつてきますので、今後とも共に協力して頑張っていきたいと思えます。氏子青年会の安寧と繁栄を心より祈念申し上げます。

新年会の様子～1～



◆新年清祓

厳かな雰囲気の中、清祓の神事を斎行しました

由井宮太郎さんによる玉串奉奠の儀



70名ほどの参加者となりました



◆開会前

新年会の前に、氏子青年会の新年清祓の神事を斎行しました。例年はこの神事を執り行っていませんでしたが、今年のご来賓の皆様も迎え、氏子青年会にとって素晴らしい一年となるように祈願しました。神事終了後は、大広間に移動して、加藤山葉さん(氏子青年会副会長)の開会挨拶から始まり、国歌斉唱、氏子青年協議会綱領唱和、先代宮司の故・山本雅道への黙とうと続き、由井さんによる会長挨拶、そしてご来賓の皆様からの御挨拶を賜りました。



司会の鈴木康弘さん(氏子青年会副会長)



開会の御挨拶をされる加藤山葉さん(氏子青年会副会長)

◆開会の挨拶

新年会の様子～2～



飯田光雄さん
(馬橋稻荷神社氏子青年会会長)



由井宮太郎さん
(氏子青年会会長)



渡辺忠司さん
(氏子総代会責任役員)



井川邦夫さん
(東京都氏子青年会協議会会長)
(大宮八幡宮氏子青年会会長)

乾杯の音頭を取る村田光紘さん(氏子総代会責任役員)から乾杯の御挨拶を戴き、皆で乾杯をしました。今年は参加者が70名程度と例年の倍近いものとなりましたので、参加者の皆様には大変狭い思いをされたと思います。距離が近かった分、交流も深まったことと思います。

乾杯の音頭を取る村田光紘さん(氏子総代会責任役員)



御来賓の皆様



◆ 会長挨拶・来賓挨拶

◆ 乾杯

新年会の様子～3～



◆ 歓談の様子



出来立てのけんちん汁が一人一人に振舞われました



(右) 隼月の皆さん
(左) マグナム 小林さん

楽しい清興となりました



清興では、隼月様、マグナム小林様にご登場戴き、楽しいひと時となりました。その後の新入会員紹介では、壇上で一人一人自己紹介とご挨拶を戴きました。皆様とても若く、これから新入会員の皆様とも協力して盛り上げていきたいと思っております。

◆ 清興

新年会の様子～4～



◆新入会員紹介



由井宮太郎さんの
発案で作られた氏子
青年会会歌が披露さ
れ、皆で唱和しまし
た。文科省唱歌の
「我は海の子」に由
井さんが作詞したも
のです。会歌ができ
たことにより、氏子
青年会の一体感が深
まることと思えます。

高円寺氷川神社

氏子青年会会歌

作詞 由井宮太郎

一、
我は杉並高円寺
氷川の森で育ちたる
神の教えを守りつつ
日々精進の道ならん

二、
みな氏神の御子として
奉仕の心と想いやり
幾年月も過ぎゆけど
我がふる里に幸あらん

三、
生まれてここに生かされて
神の恵みと人の恩
祈る気持ち忘れじと
氷川の森へいざゆかん

◆会歌唱和



参加者全員で唱和しました



この場で初めてお披露目されました

新年会の様子～5～



閉会の御挨拶をされる大村敏さん
(氏子青年会監査)



江戸消防記念会第九区七番組
上野徹雄さん

◆大締め・閉会の御挨拶



皆で三本締め
皆様で今年一年が素晴らしいものになるように声を掛け合いました



高円寺氷川神社 氏子青年会

～主な年間行事～

- ・元旦 元旦祭奉仕(神酒・甘酒提供・お焚き上げ助務)
- ・1月中旬 新年七福神巡り
- ・1月下旬 新年会
- ・3月第一日曜日 ひな祭り餅つき大会
- ・5月 総会
- ・6月1日 気象神社例祭奉仕
- ・6月30日 大祓神事奉仕
- ・7月～8月 全国氏子青年大会
- ・8月最終土日 氷川神社例大祭奉仕
- ・11月 花園神社正式参拝・忘年会
- ・12月 東京都氏青忘年会

※その他行事開催時に適宜参加、奉仕



例 氷川神社
大祭



神社境内
清掃

～氏子青年会結成のいわれ～

昭和40年代初頭、東京都神道青年会では「各神社に氏子青年会をつくろう」という運動が盛んになり、「氏子青年のつどい」が都神道青年会の主催で3～5年おき位に開催された。これに呼応して、当時神道青年会役員であった先代宮司の山本雅道は雪谷八幡神社・北川宮司の支援で昭和43年11月28日に都内6番目の氷川神社氏子青年会を結成した。会員(メンバー)は宮司の友人、後輩(高円寺中学校卒業生)、各町会青年層を中心に、又南北商店会青年部を含めて神社を中心として、地域相互の青年の交流を目的とし、神社行事のお手伝い方々「もちつき大会(3月第1日曜日一発会の翌年昭和44年から継続実施)」をメインイベントとして各種行事を時節ごとに執り行い今日に至っている。



花園神社正式参拝にて



元旦祭にて



武蔵一宮氷川神社
正式参拝にて



新年七福神巡り
受付助務

鈴木康弘さん(副会長)

今回は神社社務が新体制になって初めての氏子青年会新年会、厳かな空気が漂う中で静かに始まりました。乾杯も終わりお酒が入るといつもの和やかな雰囲気になり、氏子青年会会員手作りの美味しいけんちん汁を頂き、余興で大笑いし、世間話に花を咲かせるいつもの新年会に様変わりして、楽しい時を過ごす事が出来ました。

最後に由井会長が作詞した会の歌、みんなが知っている「我は海の子」のメロディに乗せてみんなで合唱、地域の絆が薄れて行く昨今、老若男女を問わず、同じものを食べ、合唱する何とも言えない連帯感を久しぶりに経験出来ました。また地域コミュニティの中心にある神社の役割の重要性を改めて実感しました。

大村敏さん(監査)

今年の氏子青年会新年会には高円寺でご活躍の多数の方々にご参加頂きました。ご列席頂きました皆様に感謝申し上げます。

私が氏子青年会に入会したのは、20年程前小学校(杉四)の同級生S君に誘われたからです。入会すると高校の同級生T君、N君もいました。最近同じ同級生のY君やN君も参加しています。ここ数年の氏青は、私達同級生の絆を温めることと氏青の活動が混線しマンネリ化の面もなきにしもあらずでした。

昨年、再登場した由井会長は、年々高齢化していく氏子青年会を本来の若い人主体の青年会とするため、16人の50歳以下の会員を迎え、活動の見直しを行っています。お宮の新たな体制を受けて、氏子青年会も新たな若い人達を中心に、高円寺のコミュニティの核として、中央線南北の交流、商業者と住宅地サラリーマンとの融和、新旧住民の協力、そして老若男女の集う場になれば、と思います。今年の新年会は、この生まれ変わる氏青のキックオフの場であったのだと思います。今後とも宜しく願い申し上げます。

～氏子青年会役員(平成31年3月現在)～

- | | | | |
|-----|--------|----|--------|
| 会長 | 由井 営太郎 | | |
| 副会長 | 鈴木 康弘 | | |
| 副会長 | 加藤 山葉 | | |
| 会計 | 白神 壮一郎 | | |
| 監査 | 大村 敏 | | |
| 幹事長 | 高山 康雄 | | |
| 幹事 | 奥田 敬三 | 幹事 | 山田 静子 |
| 幹事 | 小暮 幸一 | 幹事 | 水品 喜廣 |
| 幹事 | 内田 浩稔 | 幹事 | 松原 千恵子 |
| 幹事 | 小野 和輝 | 幹事 | 中里 勝 |



昨年
新調
した
半纏

氏子青年会会員募集

お問い合わせ：氏子青年会事務局
(由井建設内)
電話：03-3337-5150

由井営太郎さん(会長)

今回は平成最後の新年会となりました。結成五十一年目となる青年会は高齢化の為、活動にも支障が出ており、思い切った新陳代謝が必要と考えてました。御代替わりの今年を契機として、若々しい活気に満ちた青年会とすべく生まれ替ります。そんなことで、新年会には高円寺でご活躍されている多くの方々に出席して戴き、ご協力を仰ぐ場としました。

新元号の今年は結成時の初心に返り、氷川神社と松井宮司さんを少しでも支え、又お手伝いができればと努力していく所存です。地元の氏子の皆様にはこれからもよろしくお願ひします。

加藤山葉さん(副会長)

今年の新年会は例年のスタイルを見直し、おもてなしの気持ちを表現しようということで手作りのけんちん汁をご用意することになりました。初めての試みでしたが、総代の山岸様、子供食堂でもご活躍の広島様にご指導頂き、本格的な美味しいけんちん汁ができました。おかわりも進んで概ね好評だったと思います。そして、由井会長作詞の氏子青年会会歌も初めての披露となりました。皆さんご唱和くださったことがとても感動的でした。

いろいろと趣向を変えた今年の新年会でしたが、多方面から地域の方々にお集まり頂き、いつになく盛大な会となりました。今まで以上に地域の連携と一体感が感じられる会だったと思います。氷川神社が世代を超えた地域の交流の場となるよう、氏子青年会の活動も一層頑張っていきたいと、新年を迎えて気持ちを新たに致しました。

昨年、氏子青年会は新しく16名が入会しました。片づけをしながら新入会の方が楽しかったと言ってくれたことが何よりでした。楽しいから集まる、そんな魅力のある氏子青年会にしていきたいと思ひます。ご参加くださった皆様、ご協力して下さいました皆様、誠にありがとうございました。

氏子青年会の皆様より

新年会に参加して

小野和輝さん(幹事)

今年の新年会は色々新しい事の始まりを予感させる新年会だったと思う。大広間に国旗を掲示して、正式参拝、国歌斉唱、氏子青年会の綱領唱和等、居住いを正した新年会であったし、高円寺を代表する大勢の方々にお客様として来て頂いた新年会であった。昨年神社が代替わりして、今新しい事に積極的に取り組んでいる。この様な訳で、氏子青年会と氏子総代さん町会の方々を力合わせて神社を盛り立てて行く大切な時期である。これに相応しい新年会であった。今回は、氏子青年会の新会員が16名加わり皆さんに紹介する事が出来た。これはとても明るいニュースであり、氏子青年会にとって嬉しい事だった。また、手作りのけんちん汁を振舞ったのは初めての取り組みであったが、とても好評であった。

反省点としては、けんちん汁を手作りした結果として一部の会員に重い負担が掛かり今後の課題となった。しかし会員の努力で、総じてとても良い新年会になったと思っている。

白神壮一郎さん(会計)

会計を拝任させていただいております白神壮一郎です。私はもともと湘南の出身でございますが、縁あって高円寺に住むこと十年余り、氏子青年会にお誘いいただきました。伝統の灯を絶やすことなく受け継ぎ、古きよき時代の面影を後世に残していくために若者から老人まで世代を超えた人と人との繋がりの機会を作っていきたいと考えております。

私自身この活動をさせていただくにつれ、人とのつながり、絆の大切さを痛感し、常に感謝の気持ちを忘れずにいたいと思うようになりました。みんなで心をつなげて成し遂げる達成感は何事にもかえがたいものがあります。

まだまだ若輩者ではございますが宮司様はじめ氏子青年会の先輩方との交流のなかで切磋琢磨し成長していきたいと思っております。

高山康雄さん(幹事長)

この度はお寒い中、高円寺氷川神社氏子青年会新年会にたくさんの方がご出席下さいまして有難う御座いました。今回は由井新会長の就任祝いも兼ねましてたくさんの方々にお声をかけさせて頂きました。70名近い方のご参加有難う御座いました。大勢の方がお見えになり、席と席との間隔が狭く大変ご迷惑をおかけ致しました。

新年会は正式参拝より始まり、式典は滞りなく終了し、乾杯の音頭と共に開宴となりました。ご来賓の方々にもっとご挨拶を頂戴したかったのですが、時間の都合上割愛させて頂きました。今年は氷川神社が新体制となり、新宮司さんと新禰宜さんを紹介させて頂きました。余興は琵琶の演奏とマグナム小林さんのバイオリン漫談と楽しい時間があっという間に過ぎていきました。当日は色々混乱しており行き届かない点が多々御座いましたが、これからも氷川神社氏子青年会を宜しくお願い申し上げます。

神社より

氏子青年会の皆様には日頃からお世話になっており、普段は一人一人とじっくりお話する機会はありませんが、今回氏子青年会の新年会開催にあたり、社報において皆様の御投稿を戴くことができて大変有意義なものでした。今後、由井会長を中心に活動が活発化していくことを祈念申し上げます。



一本一本丁寧に設置されました

昨年9月より開始した日々の境内清掃は順調に進んでおり、日々神社が清らかに変化していくことを実感しておりますが、それに加えて境内各所や備品などの修復、整備も並行して開始しました。金子さんと山本さんが中心となり、老朽化、損傷したものを丁寧に手作業で修復し、新たな命を吹き込み、また新たなものを作り出してくれています。



隠れろっくん

とても雰囲気がよくなりました

氷川神社の匠

其の五

気象神社 (晴天祈願祭)

気象神社では個人・法人向けの気象にまつわる様々な祈願祭を執り行っています。今回は毎年晴天祈願にお越しになる法人様を紹介したいと思います。

2月4日(月)に富士スピードウェイ(株)様が晴天祈願の為に御来臨されました。

二〇一二年から毎年この時期にお越し戴いており、晴天祈願の神事を齎行させて頂いて戴いております。今年は原口英二郎代表取締役以下8名の皆様がお越しになりました。

富士スピードウェイは静岡県小山町にあるサーキット場でありますが、自動車レースのみならず、自動車メーカーやメディア、オーナーズクラブ関連イベントや自転車競技など様々な催しを一年間を通じて開催しております。

晴天祈願祭の様子



富士スピードウェイの皆様



今年もイベント時は晴天に恵まれ、何よりも関係者すべての方々が事故なく安全に過ごせるように祈念します。

日本を代表するサーキットとして賑わいを見せております。二〇一一年まではイベント時に雨天に祟られることが多かったそう、当時の社長の「晴天御利益のある神社を探せ」というひと声から気象神社にお参りされるようになりました。

特にこの3年は大事なイベント時は全て晴天となり、大きな御利益が得られている、というお声を戴きました。またメインレース前には毎回必ず代表者が参拝にお越しになります。今年もイベント時は晴天に恵まれ、何よりも関係者すべての方々が事故なく安全に過ごせるように祈念します。

各町会・商店会の新年会に参加しました②

氏子の皆様とより一層関係を深めるため、そして顔を覚えて戴くために、各町会や各商店会の新年会に積極的に参加しました。予定の都合がつく限り、参加しましたが、出席できなかった新年会もあつたので、必ず他の行事で参加していこうと思います。普段は町会との接点が多いのですが、今回は商店会の方々とも知り合うことができました。神社の活動を知って戴き、気軽に神社の行事に参加してもらえよう話をしました。

◆高南宝扇会新年会

会場の大信高円寺支店



佐山朝子さん (宝扇会会長)



岡野三千子さん (宝扇会副会長)

100名近い参加者が集まり、大変賑やかな会となりました。じゃんけん大会や歌の唱和でも盛り上がりました。

◆緑ヶ丘町会新年会



杉山幸一さん (緑ヶ丘町会会長)



三村さんによる 締め御挨拶

◆南中央町会・南中央商店会合同新年会

会場の渡辺建設地下ホール



渡辺孝司さん (南中央町会会長)



小暮幸一さん (南中央商店会会長)



じゃんけん大会や歌の唱和で大いに盛り上がりました。

★こうえんじん★
第九話

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。

第九話は氷川神社総代(高円寺北中央自治会会長)を務めて戴いている山岸正博さんです。



やまぎし まさひろ
山岸 正博
高円寺北中央自治会会長

「昔懐かしい高円寺と氷川神社」

高円寺北中央自治会の山岸と申します。生まれも育ちも高円寺北口の街の中です。小学生の頃は、まだ空き地もあり、メンコ、ビー玉、三角ベース野球などで遊び、夕方は商店街の路地の路上が遊び場所で、よく遊んだりしていました。今みたいに頻りに商店街の中を自転車を通ることがなく、良い遊び場で時間も忘れて遊んでいると近所のお母さんたちによく叱られてたりしたことも良い思い出です。

氷川神社へは、小学校時代のお祭り縁日で初めて行きました。北口を遊び場にしていた僕たちにとって、南口の



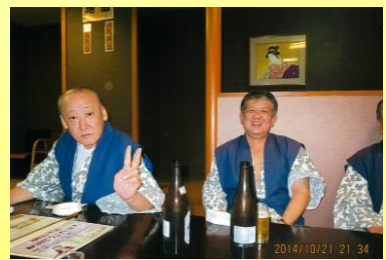
バス旅行で芦ノ牧温泉へ(一番左が山岸さん)

氷川神社に行くことは冒険のようでした。その後、氷川神社の境内でよく遊んだり、和田堀公園まで自転車で行くようになりました。
中学、高校時代には、お祭りや縁日がある時は、同級生や先輩たちのたまり場所でした。そこに顔を出すことで繋がりができるきっかけを持てたような気がします。私にとっても楽しかった時期です。大学時代は、スキー、登山に明け暮れてました。しかし氷川神社の祭りとなると、神社や公園に行き、同級生に会うのが嬉しくて時間を忘れて夜明けまで話をしていたこともあり

私も結婚、仕事、子育てと氷川神社に行くことが少なくなり、また仕事も居酒屋を経営していることもあり、自然と足が遠のき、数十年が経ちました。のちに北中央自治会会長を任されて最初の仕事は夏祭りの神酒所、御輿、山車の飾りつけでした。今までは他人に任せていましたが、自分達でやるようになり、一段と氷川神社が身近に感じる事ができ、氏子総代、氏子青年会の仕事に携わり、また今までお付き合いのなかった方々と顔見知りになれたことが、私にとって今までと違う氷川神社とのお付き合いになってきました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



北中央自治会
新年会にて



楽遊会にて

自己紹介

- 氏名 : 山岸 正博(ヤマギシ マサヒロ)
- 生年月日 : 昭和25年6月30日
- 出身地 : 高円寺北3丁目
- 血液型 : O型
- 趣味 : めだかを育てる事
- 特技 : 特になし
- 座右の銘 : 何事にも有難うの言葉
- 高円寺お薦めスポット : 氷川神社・高円寺
- 一言 : 氷川神社は子供たちに思い出を一杯残してあげたい場所



同級生と楽しいひととき(一番左が山岸さん)

★「こうえんじん」★
第十話

氷川神社の運営に日頃から協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。

第十話は氷川神社総代(高円寺パル商盛會会長)を務めて戴いている布澤好子さんです。



ふざわ よしこ
布澤 好子
高円寺パル商盛會会長

「氷川神社との縁」

高円寺パル商盛會会長の布澤好子と申します。

神奈川県川崎市生まれですが、4歳の時に横浜に引っ越して、その後高円寺に移り、現在に至っております。杉八小学校から高円寺中学校と親子二代で過ごしました。

子供の頃には長仙寺、氷川神社、高円寺でよく遊んでました。お祭りの時には、氷川神社にお店がたくさん出るのが楽しみで、お友達と一緒に遊びに行きました。又、結婚して子供が生まれ、初宮参り、七五三と先代宮司には大変お世話になりました。また、高円

寺中央青少年育成委員会の会長を務めて戴いたり、氷川神社とは切っても切れないご縁でつながっております。



息子さんとお孫さんと

私が阿波踊りを始めてからは、連員さんのお世話や終わってからの食事の支度などがあり、子供たちを神社に連れていく時間がなく、連れていったことがありません。その代わりに連の皆さんが連れて行って戴きました。感謝しております。子供達には申し訳ないこと思いますが、忙しい時間が持てませんでした。それが済んでからは、自分自身が支度をして踊りに出ますので、時間的にはいっぱい

今でもそれは続いておりませんので、とても感謝しております。

一時、阿波踊りと氷川神社のお祭りの日付が重ならないことがありましたが、その時には子供たちは大きくなつていて、私が連れていくよりもお友達同士で行ったほうが楽しくなっております。

又、町会長になつてからは、神社と密接な関係を持つようになり、感慨深く思っております。氷川神社も昨年からは新しい雰囲気になりました。宮司の松井美加子さんを少しでも支援していければと思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



恩師の方と食事会(一番右が布澤さん)

～神社より～

今月は山岸さんと布澤さんを紹介させて戴きました。お二人には神社の総代を務めて戴いており、日頃から大変お世話になっております。しかし今回の原稿を拝見させて戴き、お二人について新たなことが知ることができて、とても有難かったです。山岸さんには先日氏子青年会新年会の時にけんちん汁を作って戴きました。布澤さんは昨年阿波踊りで踊っている勇姿を拝見させて戴きました。これからも一人でも多く紹介していきたいのでご協力をお願い申し上げます。

自己紹介

氏名 : 布澤 好子(フザワ ヨシコ)
生年月日 : 昭和18年9月1日
出身地 : 神奈川県川崎市
血液型 : A型
趣味 : 読書(最近はミステリー) 小物作り
座右の銘 : 自分に忠実に
高円寺お薦めスポット : 氷川神社



昨夏の阿波踊りでの布澤さん



愛猫と

神社庁杉並支部新年会

1月18日に神社庁杉並支部新年会に参加してきました。(於吉祥寺第一ホテル)杉並支部は東京都の各支部の中でも神社数と神職数が多く、毎月各神社持ち回りで支部常会を開催して定期的に情報交換をしています。

昨年、杉並支部においては、下高井戸八幡神社の齋藤明比古宮司と当神社の山本雅道が帰幽されました。新年会冒頭でも提箸(さげはし)支部長より、改めて両名に対する哀悼の意を戴きました。また提箸支部長が

2月末で奉職先の大宮八幡宮を退職され、郷里の伊勢神社(栃木県足利市伊勢町)に奉職するというお知らせもありました。次期支部長は高円寺天祖神社宮司の宮澤良和さんとなります。当神社近隣で以前より親しくさせて戴いておりますので、ささやかながらも協力させて戴く所存であります。



新年会の様子



改修工事後の神社
とても迫力があります

馬橋稲荷神社 氏子青年会新年会

1月13日に馬橋稲荷神社氏子青年会の新年会に参加してきました。馬橋稲荷神社は当神社の近隣の住宅街に位置しており、厳かな雰囲気はまさに氏神様が氏子を護っているようです。

社殿の高さをあげる(2mほど)工事でも無事に昨年末に完工して、とても立派で迫力ある姿に生まれ変わっていました。境内も社務所も常に清潔に保たれており、参拝するたびに勉強になることが多いです。

新年会には、当神社の氏子青年会の方々と参加してきました。参加者とは時間の限り交流を深めることができ、とても有意義なものでした。今後とも馬橋稲荷様とは切磋琢磨して地域を盛り上げていきたいです。

第九回高円寺演芸まつり

2月8日(2月17日)にかけて、第九回高円寺演芸まつり(実行委員長 高田芳作)が開催されました。毎年この時期に開催されているこのイベントは、『いつもの店にも、意外な場所にも、一日だけの寄席が誕生!』という趣旨で高円寺の町中の至る所で気軽に演芸を楽しむものです。今年は座・高円寺や高円寺地区にある各店舗など40会場以上で連日楽しい演芸が開催されました。

当神社では大広間において、獅子舞演芸や寄席が開催され、特に寄席は3部ともに開園前から行列ができるなど、満席となり盛り上がりました。微力ながら高円寺地域活性化の一助となるようにこれからも協力していきたいと思っております。

出演し、出陣し、宮司撮影、橋本と宮司の清興と写真としました



社務所2階にある立派なホールで開催された



大広間で行われた獅子舞演芸や寄席の様子



編集後記

ひかわ156号をお送りしました。慌ただしい1月を乗り切りましたが、2月も初午祭などもあり、あっという間に終わった感じですね。境内の落ち葉もようやくなくなり、梅の花も咲き始めました。来月はひな祭りもちつき大会もあるので、また賑やかになると思います。今年度も残り一か月になりましたが、しっかりと走り抜けたと思います。